

# たかさご新聞

発行  
高砂大学校同窓会  
会長 小坂 進  
〒920-0901  
金沢市彦三町1-15-5  
金沢中央公民館2F  
TEL (076) 261-8101  
FAX (076) 261-8149  
(HP) http://www.takasagoob.net

## 「新型コロナウイルス感染症」拡大対策 同窓会活動の自粛協力継続中 令和2年度 同窓会総会が中止に

### 定期総会中止に 代わる書面でのご挨拶

会長 小坂 進

同窓会会員の皆様には、日頃から同窓会活動にご協力頂き、厚くお礼申し上げます。お陰様で令和元年度の六次行事も無事に終了しました。重ねてお礼申し上げます。

同窓会の「定期総会」を令和2年度4月6日に開催すべく準備してまいりました。が、皆さまご存知のとおり、今や世界中に「新型コロナウイルス感染症」の流行が留まる気配が無いことから、「安全・安心」と「新型コロナウイルス」の専門家会議提言（構図）を採用する事で、苦渋の思いで長きに

### 4～6月実施主要行事

令和2年度 同窓会総会（4月6日予定）の従来方法  
を中止。代わりに総会資料を代議員各位  
に送付し、意見を問う方法で対応  
（4月16日変更）

4月27日（月）令和2年度第1回クラス会長・  
第1回グループ代表者会議

5月15日（金）すこやか体育まつり正副部長会議

5月21日（木）すこやか体育まつり運営委員会・  
分科会

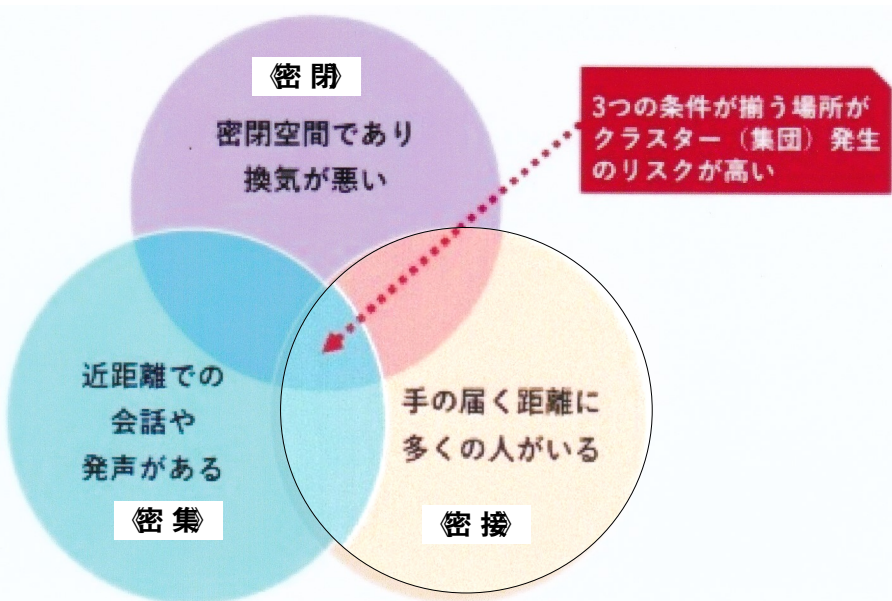
6月1日（土）彦三館 大研修室他  
午後1時30分～ 彦三館 大研修室他

6月2日（火）第40回すこやか体育まつり  
午前10時～午後3時 市総合体育館

金沢医療センター付属看護学校  
臨地実習受け入れ

令和2年度 同窓会総会（4月6日予定）の従来方法  
を中止。代わりに総会資料を代議員各位  
に送付し、意見を問う方法で対応  
（4月16日変更）

### 「新型コロナウイルスの専門家会議提言（構図）」



同窓会は今、会員数の大幅な減少により厳しい局面に立たされています。これに対処するため、かねてから一人ひとりがそれぞれ役割を果たすようお願いしているところですが、更に一層同窓会のPRを行う等活動して頂くようお願い致します。

今年度からは新しい会長に業務を引き継ぎ予定ですが、今後とも同窓会を宜しくお願い致しますと共に、皆様も十分健康に留意して頂きますよう合わせてお願い致します。

### 会員証 ポイントラリー

新年度の会員証はオレンジ色ベースです。各期クラス会長から配布されます。



### 会員証 協力事業所（3月追加分）

No. 91 カフェ・アルコ メルカート（軽食喫茶）  
青草町88番地 近江町いちば館1F  
ランチを食べるとコーヒーor紅茶をサービス

### 令和2年度 高砂大学校大学院 第55期 受講生公開抽選会

3月5日（木）彦三館大の説明、指示に従い、厳選  
研修室において、午後1時  
から令和2年度（第55期）  
高砂大学校大学院受講生募  
集の公開抽選会が行われた。

立会人の中から高砂大学  
校同窓会事務局長 西尾氏、  
金沢ボランティア大学校事  
務局長 岡田氏、金沢市老  
人連合会事務局長 森下氏、  
金沢市生涯学習課 米島氏、  
中央公民館長 木戸氏が抽  
選者になり、彦三館 加成  
館長補佐の抽選方法・手順

これら定員を補充する  
方法として、花樹園芸科と  
文学美術科の抽選で漏れた  
者の中の第二希望の科を集  
約した結果、歴史民俗科は  
14名の応募であり、全員が  
入学決定となったが、悠々  
健康科は16名の応募のため、  
更に抽選が行われ、9名が  
入学決定となった。

抽選結果は即日二階ロビー  
貼り出された。  
近年の学習専科毎の応募  
者・倍率を整理すると下表  
のとおりである。



大学院受講生公開抽選会場の様子

### 高砂大学校大学院応募状況の比較

| 学習専科 | 定員  | R2年度 |      |     | H31年度 |      | H30年度 |      | H29年度 |      |
|------|-----|------|------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|
|      |     | 応募者  | 倍率   | 補充者 | 応募者   | 倍率   | 応募者   | 倍率   | 応募者   | 倍率   |
| 歴史民俗 | 144 | 129  | 0.90 | 14  | 148   | 1.03 | 144   | 1.00 | 171   | 1.19 |
| 果樹園芸 | 84  | 160  | 1.90 | —   | 150   | 1.79 | 144   | 1.71 | 151   | 1.80 |
| 文学美術 | 108 | 124  | 1.15 | —   | 140   | 1.30 | 142   | 1.31 | 168   | 1.56 |
| 悠々健康 | 108 | 99   | 0.92 | 9   | 121   | 1.12 | 137   | 1.27 | 158   | 1.46 |
| 計    | 444 | 512  | 1.15 | 23  | 559   | 1.26 | 567   | 1.28 | 648   | 1.46 |

「私の財産を世話してもらっ  
ている介護の玉子さんに全  
て渡したいと思っています。  
それに猫のタマも気になっ  
てる」と言い出した。いい  
人だけれど、他人に財産を  
全部あげることが出来るか。  
との話。

A 全部あげることが出来  
ない。遺留分の半分が子  
に補償されている。二人で  
あれば1/4ずつである。  
（※裏面に続きます）

### サロンみらい高砂 開催 紙芝居で身近にある 相続のことを学ぶ

2月21日（金）午前10時  
からサロンみらい高砂「紙  
芝居」が開催され、30名が  
参加した。

「認知症になる前に家族で  
あるある相続の話」などと  
題して、演者にかなざわ紙  
芝居倶楽部代表 森ときえ  
様、解説にコンサルタント・  
相続診断士 蔵田美智子様  
をお迎えし、財産相続に関  
する事象を紙芝居で、法律  
に基づく処分と解決方法や  
事例を用いて分かり易い解  
説を頂いた。またお気に入り  
の紙芝居も紹介頂いた。

第一話、先生教えて「淑  
子（よしこ）さん」（あら  
すじ）子供たちも自立し、  
やがて夫が亡くなり、一人  
暮らしが始まった。ゆとり  
ある老後をのんびり暮らし  
ていたが、ある日から淑子  
さんに認知症の症状が出て  
きて、一人暮らしは危なく  
なってきたので、施設に入  
ることにした。施設では  
とても楽しく暮らし始めて  
いたが、娘たちが訪ねた折  
り、



かなざわ紙芝居倶楽部 森様①と  
コンサルタント相続相談室 蔵田様②



第二話、先生教えて「空き家の相続税は……！」  
(あらすじ) 能登の土地・家屋の財産処分は終えていたが、金沢の田舎に親から相続した土地・家屋があり、空き家になっている。三男の息子の結婚を機に、その財産を譲ると言ったが、こんな田舎には住めない。財産は放棄すると云う。子供たちが相続しない場合は、その孫が継ぐことになるのか。固定資産税は誰が払うことになるのか。との話。  
A「親が亡くなって、子供たちが財産を放棄しても、固定資産税は子供たちに請求される。家屋も残ってれば、建築物費存者として、管理等の費用もかかってくる。」



サロンみらい高砂開催会場の様子

第四話、先生教えて「こんなに相続税が……！」  
(あらすじ) 幼少期、両親は離婚。実父が亡くなった後、一人娘として多額の財産を相続し、毎日豪遊生活の日々を過ごしていたが、実母から離婚の時子供がやどっており、実の妹の存在が分かった。妹への財産相続は出来るのか。との話

第三話、先生教えて「信託銀行に遺言状が……！」  
(あらすじ) 実父の介護は妹に任せきりで、兄と相談して、その費用は年金からまかなう事となった。郵便物も妹へ転送することとした。ある日、銀行から定期の満期通知が届いた。兄には連絡せず、少しづつ引き出していく。また、有価証券も出て来た。妹は使い込み豪遊生活。やがて父が亡くなった。信託銀行に遺言状が残っており、兄弟仲良く分けるように書かれていた。使い込みがばれてしまった。この様になった場合どうすればよいか。との話  
A「税法では使った金の残りの金に相続税の計算をする。民法では調停して応分に算定する。」

A「子としての遺留分を分けないといけない。銀行への手続きには遺産分割協議書が必要であり、相続人と分かる原戸籍謄本が必要。他に、森さんのお気に入りの紙芝居「あわの穂」と題した「やせたメンドリとキツネ」と云うイタリヤの話を開西風にアレンジして制作したもの。  
(あらすじ) 餌をあまり貰えず痩せたメンドリが山にある餌(木の実)で太ってくる。山へ入ると、キツネが待ちかまえていて、食べようとする。メンドリは、今は痩せているので太って帰って来るから、それまで待ってくれと頼む。やがてメンドリは太り、ひよこを数羽つれて「あわの穂」を銜えさせ、山を下りて来た。待ちかまえていたキツ



同窓会ホームページアドレス  
(HP) <http://www.takasagoob.net>  
高砂大学校同窓会で検索もOK

たかさご新聞のカラー版は高砂同窓会のホームページを開くと見れます。一年分掲載してま

## 会員だより

役員会で歴史講座

106期3組

会長 轟 健正

私たち「いきいき会」は、2月20日(木)令和元年度第3回役員会を開催しました。(彦三館小会議室A・10時30分～11時45分・参加者15名)  
第2回役員会後の活動報告や次期役員と役員の確認、会費を徴集した後、今回の企画「歴史講座」を行いました。

高砂大学院OB歴史会藤堂副会長より、「加賀藩歴代藩主」と題し、14人の藩主一人ひとりの業績について講演を頂きました。最後に藤堂副会長より〇×問題が出され、北さんが全問正解！和気あいあいの内に終了。亡くなった2名を含め会員の拡充に向けて意見を出し合い、来年度も魅力ある集まりにすることを確認し、閉会しました。

「姉妹校」(あらすじ)

青森県の中学校を卒業して、大和紡績金沢工場に集団就職。山形の子と友達になり、最初の頃は夜間高校にも行けて喜んでいて。やがて、仕事にミスをして叱られ、学校では仕事に疲れて居眠りして注意されるなど辛い日々が続く。故郷に帰りたい思いがつのようになっていた。そんなある日、工場の敷地に寄り添って姉妹のように並ぶ満開の桜を眺めて、故郷を思いながらも頑張ろうと勇気付けられた。辛い時は何時も眺めていた。とお祖母さんの思い出の桜。工場は無くなったが、今でも芸術村に残されている。との話。



役員会後の歴史講座(藤堂さん)の様子

## OB歴史会【2月】自主研究発表の報告

「日本人の宗教」

「兼六園の成り立ち」

自主研究部会

西尾 欣一

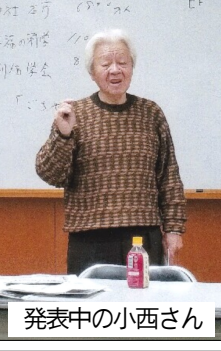
二月二〇日(木)午前十時から視聴覚室において発表会が行われた。

小西 優(九八二)

「日本人(七)宗教」

これは日本人シリーズの七番目で、宗教という切り口から日本及び日本人を理解するものである。

当初、人類は各地を移動していたが、農業をするににより定住するようになった。それとともに不安な心が生じ、集団で神に祈るということが各地で生じている。これが宗教の始まりである。日本では、原始時代から仏教の伝来を経て、現代社会に通じる宗教の構造は、江戸時代の檀家制度・氏子の制度によって出来上がったと考えられる。このことにより明治以降も国民の九割が神社に参り、八割が仏教を拝むようになった。日本人は外来のものを受けて改良し自分のものとする性格があり、現在宗教法人十八万、神社庁所管の氏子は六千八百万人等信者の数は人口を大きく上回る状態である。日本人の宗教は「ごちゃ混ぜの宗教」と言われる所以である。



発表中の小西さん



発表中の田上さん

田上 稔(九八一)

「兼六園の成り立ち」

水戸偕楽園、岡山後楽園と並んで天下の三名園と称せられ、年間二百八十万人の観光客で賑わう兼六園の成り立ちについての発表。

兼六園の地が歴史に現れるのは、天文十五(一九四六)年、本願寺が金沢御堂(尾山御坊)をこの地に建てたことによる。以後、佐久間盛政の金沢城時代を経て、前田利家がここへ入城してから、本格的な展開が始まる。

兼六園の歴史は、百閒堀に面した蓮池庭と小立野台地に続く千歳台に分けられて、それぞれの歴史がある。利長の時代以来この地は藩士の屋敷地として使われてきたが、五代綱紀から作庭されてきた。十一代治脩が蓮池庭に翠滝の整備や夕顔亭など現兼六園の原型を作り、十二代斉広の竹沢御殿の建設とともに兼六園と名づけられた。十三代斉泰の時、竹沢御殿を取り壊して兼六園が完成した。

いずれの発表も、平生我々が理解していると思っていることを基礎的なところから再認識させてくれ、大変有意義であった。

## 第50回いしかわビデオ作品コンクール

最優秀賞 受賞

高砂ビデオクラブ報告

宮本 房義

・最優秀賞(石川県教育委員会賞) 本保松枝

「平泉白山神社」

・奨励賞(石川県視聴覚教育協議会) 小室忠男

「月下美人の撮影挑戦」

・奨励賞(石川県視聴覚教育協議会) 安倍みどり

「初めてのビデオ撮影に挑戦」

公的機関が募集するビデオ作品の権威あるコンクールに高砂ビデオクラブ会員3名が入賞しました。頂点の最高賞を受賞(R2・3・7)の本保松枝さんから喜びの寄稿が届きました。

作品は「参道を行く」とこは広い境内でした。私を魅了させてくれたのは木漏れ陽に輝く緑の絨毯でした。そこに浮かぶ一緒に来た人との思い出がテーマです。新しい編集テクニックを教わり、だんだんと思った通りに近づいてきました。完成は撮影編集の喜を味わった瞬間でした。(撮影は元年7月15日)

ビデオ活動は生活に潤いや楽しさを持たせてくれました。、新たな人々との出会いがかけがいのないものとなりました。良きビデオ仲間になさされ、感謝しながら素晴らしい作品作りに頑張りたいと思います。

【県民映像力レッスンの岡野重和講師の講評】  
《小屋忠男さんの作品》  
いつもの明快なナレーションはもとより、開花をイン

ンはもとより、開花をインターバル撮影に挑戦されたことがなにより評価、この特殊撮影は再生時の時間間隔の設定が難しいが、この花の短い一生をまざまざと見せつけられ余韻が漂う作品です。  
《本保松枝さんの作品》  
スケッチ風の映像の流れとともに過半の思いに耽る。淡々と語るナレーションが視聴者への共感を呼ぶ作品です

《安倍みどりの作品》  
県民映像力レッスン受講中のテーマ作品が処女作品で入賞となったのは前例がありません。作品のコマ並べも当然ながらナレーションでクオリティーが倍加しています。  
【高砂ビデオクラブ

会長 小屋さん談

こんな名誉で嬉しいことは有りません。部員の中で入部に間もない女性二人も受賞したのですから。早速祝賀会をと思いましたがコロナウィルスで先延ばしですが喜びは隠せることではないでしょう。受賞作品は8月1日の作品発表会で上映いたしますのでお越しください。当クラブは毎週の定例以外にも編集室でだれかが自分の作品をつくっています。部屋に電気がついていたら気軽に声を掛けてください。



最優秀賞を受賞した本保さん